

220728

16:00

第1回 公園のあり方協議会

日時：令和4年7月14日（木）

午前10時～11時

会場：第二常任委員会室

1 開会

それでは予定の時刻になりましたので、只今から第1回の公園のあり方協議会を開催したいと思います。本日はお忙しい中、また雨で足下の悪い中、協議会の委員の皆様、ご出席を頂きまして誠にありがとうございます。申し遅れました。本日進行を務めます、松江市公園緑地課長の石本と申します。どうかよろしく願致します。では座って進行を務めさせていただきます。

本日の出席は9名のうち落合さん1名がご欠席とご連絡いただいております。なお、委員の皆様には机の上に委嘱状を置かせて頂いております。本来であれば直接手渡しをしてお願いをすべきところですが、コロナ禍もございまして置かせて頂きました。ご了承頂きたいと思っております。それでは開催にあたりまして、松江市都市整備部長為国よりご挨拶をいたします。

(1) 松江市都市整備部長あいさつ

皆さんおはようございます。都市整備部の為国でございます。本日はお忙しいところ本当にお集まりいただきありがとうございます。また、公園のあり方を考えるという協議会を設立いたしまして、委員の皆様方にご推薦させて頂いた所、快く引き受け頂きました事、改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて松江市の公園でございますが、実は400近くございまして、中々私も正直な所この公園が400あってどれ位使われているかという所は若干の疑問がある所でございます。昔からのニーズが変わってきたという事もあると思っておりますが、それ以上の事もあるのではないかと危惧する所でございます。この協議会を設立しました目的としましては、そういう所も改善したい、今後のあり方を考えていく方針を決定していきたいと考えております。時にはあり方という優しい言葉ではなく改革に近いような、活発なご意見を頂きながら、公園というものが皆さんのものであり、末永く愛されて使って頂けるようなものになるように、この協議会で活発なご意見を頂ければと思っております。本日は第1回目ということでございますので後ほど事務局の方から現在の公園の状況等についてお話させていただいて、次回以降、活発なご意見等頂きたいと思っております。協議会の中だけではなくて協議会開催していない時にも是非、事務局を公園緑地課でやっておりますので、疑問やこうした方がいいのではない

かという事がございましたら、協議会自体は限られた時間でございますので、そういう時間を有効に活用して頂きながら進めていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

(2) 委員紹介

事務局 (石本課長)：それでは本日は第1回の協議会ということもありますので、委員の皆様も初めての顔合わせということになります。レジメの二枚目の所に委員名簿をつけております。その委員名簿の順に簡単に自己紹介をいただきたいと思っております。名簿の1番上の小林委員からよろしく願いいたします。

小林委員：島根大学の小林と申します。宜しくお願い致します。専門は木造建築構法で、伝統的な木造の茅葺き民家や街並み景観を手がけています。一昨年、松江市みどりの基本計画委員会にも参加させて頂いています。引き続きになりますが、宜しくお願い致します。

小谷委員：子育て中のお母さんたちの支援をしています。よりよい公園になり、松江市が子育てにやさしいまちとなれば良いと思います。

松江市母子保健推進協議会に属しておりまして、子育て中のお母さんや保護者の方や子供達の方々の支援をさせて頂いております。公園について特にという事はないですが、長年地域において子育て支援をしているので公園で遊ばせるという事については10年位前ですが公園について調べようというような事があったなと思い出しております。よりよい公園になり、松江市が子育てに優しいまちになっていくことをこれから考えていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

武部委員：松江圏域老人福祉施設協議会の副会長を仰せつかっております。松江圏域老人福祉施設協議会というのは特別養護老人ホーム、高齢者の介護施設を運営している社会福祉法人を主な構成員としている団体でございます。現在松江市総合計画の策定や松江市の社会福祉審議会等に出席もさせて頂いております。社会福祉法人として共生社会の実現等に向けた社会福祉法人の役割もあると思っております。ここが公園のあり方にも一部関わってくるのではないかと私どもとしても認識しておりますので、よりよい公園のあり方について何か協力が出来ればと思っております。宜しくお願い致します。

松本委員：松江市が発行している子育て世代向けのフリーペーパー「みちよって」の編集員をしております。公園という分脈でいきますとプライベートで「旅する公園」というプロジェクトをしており、島根大学の学生さんや留学生さんと一緒に国際交流と松江の素敵な景色や美味しい食べ物を組み合わ

せて皆様といい時間を過ごすというプロジェクトでよく公園緑地課さんに利用申請をして公園を使っています。宜しくお願い致します。

長岡委員：松江市保育所保護者会連合会から出かけております。勤務は川津公民館で勤務しております、保育所連合会としてのご意見も出せると思いますし、公民館として地域サイドのご意見も出せればなと思っています。宜しくお願い致します。

石川委員：松江市PTA連合会の方から出ております。子育て世代という事で、公園がなかなか利用しにくい環境下であるとは思いますが、唯一、広い所でゆっくり出来る所が今公園なのかなと思っていますので、なるべく使いやすいようになっていけばいいなと思っています。宜しくお願い致します。

竹下委員：松江商工会議所の竹下と申します。宜しくお願い致します。今、松江商工会議所では水辺の活用を非常に重点事項として取り組んでおりまして、岸公園や千鳥公園、白濁公園など水辺に公園が沢山ありますが、そちらの活用も意見を言わせて頂ければと思います。一方で、水辺以外の公園についても、実は私はこう見えますも小さい子がいますのでよく北公園に行かせてもらいます。やはり遊具が充実している公園は行ってみたいなと思っています。それ以外の公園につきましても、色々沢山あると**ごぎ****います(思います?)**が、まだ皆さんも私も知らない公園が沢山あると思います。その辺の対応をどういう風にしていけばいいか、調査の状況などお聞きしながら意見を言わせて頂ければと思いますので宜しくお願い致します。

村山委員：**意東ゆめプロジェクトに携わっている。公営住宅の跡地利用を考えると、アンケートなどをしながら意見を集約しながら作った。何も置かない公園として整備した。削除?**

意東ゆめプロジェクトという所で事務局的な活動をさせてもらっています。2009年位に公営住宅が取り壊されるにあたって、その跡地をどう使うかについて住民や小学生にアンケートをとった結果、「意東ゆめ公園」というものを作りたいと。どんな公園にするかという事も含めましてアンケートで聞いたところ、小学生180件のアンケート中77件が芝生で何にもない、何も物を置かないという事で今実現しております。併せて隣に意東川という川が通っておりますので、それを県土整備事務所に相談させて頂いて管理道路も付け替えて頂いて、そこに親水に繋がるような公園と川と一体化でここまで約10年色々整備活動をさせて頂いております。

色々思うことがありますので、これから先も皆さんと一緒に活動させ

書式変更: フォントの色: 赤

書式変更: フォントの色: 赤

て頂けたら嬉しく思います。宜しくお願い致します。

事務局 (石本課長)：委員の皆様ありがとうございました。それでは事務局の方も自己紹介をさせていただきます。

都市整備部長の為国です。宜しく申し上げます。

公園緑地課長の石本です。宜しくお願い致します。

公園緑地課で公園管理を担当しております渡部渡辺です。宜しく申し上げます。

公園緑地課で公園整備を担当しております石倉です。宜しく申し上げます。

公園緑地課で公園整備をの公園整備係を担当しております高木です。宜しく申し上げます。

公園緑地課で公園管理をの公園管理係を担当しております小川です。宜しく申し上げます。

(3) 委員長・副委員長選出

事務局 (石本課長)：それでは、委員長、副委員長の選出をさせて頂きたいと思えます。委員長、副委員長の選出につきましてはお手元の資料の最後に要綱をつけておりますが、第五条の第一項で委員の互選によって定めとなっております。どなたか委員長、副委員長、立候補されるという方はいらっしゃいますでしょうか。どなたもいらっしゃらなければ事務局の方からご提案をさせて頂いてよろしいでしょうか。

(一同賛成)

事務局 (石本課長)：ありがとうございます。それでは事務局の方からご提案をさせて頂きたいと思えます。委員長につきましては、島根大学准教授 小林委員にお願いしたいと思います。また副委員長については松江市保育所保護者会連合会 長岡委員にお願いしたいと思います。皆様いかがでしょうか。

(一同拍手)

事務局 (石本課長)：ありがとうございます。皆様にご賛同頂きましたので小林委員に委員長、長岡委員に副委員長をお願いしたいと思います。それでは両委員方、前の方の席に移動をお願いします。それでは委員長、副委員長に就任にあたって一言ご挨拶を頂きたいと思えます。まず小林委員長お願

い致します。

小林委員長：座ったままで失礼致します。先ほどご挨拶をさせていただきましたが、一昨年度みどりの基本計画に関わらせて頂きまして、その時に気になっていたのは、これほどの程度実現していくのだろうか、具体的に本当に進むのかなど非常に気にしておりました。今回、協議会のお話を頂きまして、本当に進めていくのだな、具体的にちょっとでも進んでいくのだと安心して、気持ち新たに頑張りたいと思っている所です。なかなか役所の仕事でという思い切った事が提案出来ないというイメージも皆さんあると思いますが、市長さんも新しく変わったという事ですし、為国部長さんからも新しい事にチャレンジ出来る環境だと聞いています。新しいことをするのに出来ない理由を出すのは簡単ですが、それをどのようにすれば解決出来るだろうというスタンスでこの会を進めていけるといいと思っています。皆さんも夢のような話でも一回出して頂いて、本当に出来るかというそもそもの所から始められると非常にいい会になるのではないかと考えております。進行至らない点あるかと思いますが皆様ご協力頂ければと思います。

長岡副委員長：座って失礼致します。この様な大役を仰せつかって知識も経験も全然足りてないのですが、副委員長を受ける・受けないは別として委員になった以上精一杯頑張るのはもちろん、副委員長になった以上より一層頑張っていきます。宜しくお願い致します。

事務局(石本課長)：ありがとうございます。本日は協議会事務局の運営補助としてコンサルタント、アテナの上田が来ておりますので紹介させて頂きます。本日のこの協議会は公開でさせていただきたいと思います。今日皆さんからあがった議論の意見、資料につきましては後日、市のホームページで掲載をさせていただき、内容をオープンにしながら進めていきたいと思っております。では、早速議事に入らせていただきたいと思います。要綱の第5条第2項に基づきまして、委員長が議長となって運営をしますとありますので、これからの進行につきましては小林委員長をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

2 議題

- (1) 松江市の公園の状況と課題について
- (2) 利用者調査等について
- (3) 今後の進め方について

○進 行：小林委員長

○資料説明：石倉公園整備係長

小林委員長：ありがとうございました。一気に説明していただいたので駆け足で分かりにくかったかと思いますが、初めから内容を確認してみなさんからご意見や質問等を頂ければと思います。1 番初めは市内公園の状況と課題になります。はじめにこれまでの検討の内容をまとめて頂いた上で現状の課題として、これだけ公園があつて経過年数がこのぐらいという話と維持管理の話が多くなっています。どのぐらいの費用かかっているか、という今大きな問題である維持管理の話です。さらに維持管理については下の方で遊具の話であげていただいていますし、どうにかするために民間の方に参加していただかないとまずいよという課題も挙げていただいています。それに加えて、公園というのは防災の機能も非常に重要だという項目を挙げて頂いております。この点につきまして、公園について皆さんが日頃を感じていること、大きな視点で見て何か疑問になる所、今回のこの話題の中で関連するところがございましたら、意見をあげていただけたらと思います。

私の方から一個あげさせていただきますと、維持管理費が公園の数の増加に伴って増えてきていますが、維持管理費の中身で特に金額的負担が大きな所はありますでしょうか。

事務局（石本課長）：1 億 5200 万円の中身を見たところ、草刈りや指定管理に出している管理委託費が約 6000 万円です。公園緑地課の現場班が直営で草刈りをしており、それを 7 人の職員さんをお願いしております。この 1 億 5200 万円の中にはその方の人件費も入っております。ほぼ維持管理費と見ていただいて結構です。あと、トイレや遊具の手入れや補修費用、修繕費用といったものになります。

小林委員長：管理が非常に大変でお金がかかるという事ですね。

事務局（石本課長）：遊具が使えなくなったらそれをすぐ撤去する費用が大きいのです。

小林委員長：それが結構な割合を占めている訳ですね。となると、維持管理というよりこの緑をどうするという所も大きな課題ですね。ありがとうございました。何か皆さん、普段気になっていることや子供を遊ばせていて思うことありますか。

武部委員：私には今 3 歳の子供がおりまして、コロナ禍というものもあるのですが、こんなに公園に行くことになるとは子供が出来て驚いています。自分が小さい頃もそうだったのかなと思いますが、あの時期を境にほとんど行かなかった公園に、公園に行かない月はないくらい、多ければ週に何回も

行くような状況で、公園というものをすごく身近に今感じるようになっております。また普段介護施設で勤務していますので、送迎もあります。例えばデイサービスに通っている方のお宅までの送迎を担当しますと、配食でお弁当配達などもしていますので、結構地域の道を色々と走ります。そこで感じたことをお話しすると、まず子供のことで言えば、子供はやっぱり遊具がある所に行きたいというのが非常に多いです。やはり近くにある公園でもその時の遊び方によって行く公園が一つではないというのが結構あります。北公園に行く時もあれば、もう少し近い公園の方に行くといった事があると思います。ただやはり公園はたくさんあり、素敵な公園もいっぱいあるのですが、その情報はなかなか探しにくいと思いました。ですから、この公園にはこんな機能があるといったものがばつと探せるとすごくいいなと感じました。例えば「ぎゅっと松江」というアプリがありますが、その中で公園を使いたいときに簡単に調べられるといいなと感じました。あとは仕事上で感じていることは、やはり濃淡がすごくあり、全く使っていない公園が非常に目立つなど。草がぼうぼうと生えていて、遊具はあるけど草がぼうぼうと生えているので普段子供がいない、遊んでいる人を見たことがないような公園があります。あとは、これは難しい部分かもしれませんが、一見綺麗に整備されているようですが、近くに行ってみると木の根でアスファルトが割れていたりすごく凹凸があったり、そういった所も結構あるかなと感じております。総合計画の中でも感じたのですが、松江市民として松江で暮らしてよかったとか松江で子育てして良かったなという中に、公園の機能は非常に重要なコンテンツかなと思いますので、そこで繋がりが作れるといいのかなと現状は感じております。

小林委員長：ありがとうございます。なかなか情報が探しにくいんですね。行ってみたいとわからないんですね。利活用で色んな事をやる中でそういう公園サイトがあると、ひょっとすると利用者も一気に増える可能性もあるということですね。広報の情報のお話をまず頂きました。また、全く使っていない公園もあるということで、これはそもそも公園の目的が初めから定まっていないという事になりますか。公園を作る時に、今からでもいいかと思えますけども、そういう所をどういう風に使うか目的を整理しないとまずいというご意見かと思えます。ありがとうございます。確かに公園の情報がおそらく今まであまり出ていなかったかもしれないです。共有していけるといいかなと思います。

事務局（渡部係長）：管理を担当しています。ご意見ありがとうございました。確かにコマースが足りないかもしれませんが、状況をご説明させてく

ださい。公園の紹介の部分につきましては、市役所の子育てのセクション、子育て政策課とタイアップして「おでかけマップ」という雑誌を作っております。公園にはこういう遊具があるよという漫画で、絵にあるような感じの滑り台があるよといった事で紹介しています。それから「マップ on しまね」というツールの中で公園の紹介もさせて頂いておりますが、知られている方が少ないかもしれません。こういった物がありますよというPRの方法については、どういう方法が効果的であるかご意見を頂きながら、より良いPRの方法を考えていきたいと思っております。草の問題は、これも毎日悩んでいるところですが、草が生える時期にはどこの公園も一気に生えてきております。一応目安としては年間2回春と秋のクリーンまっえの時期に草を刈るようにしていますが、なかなか追いついていない状況にあります。刈る直前の時に見られると大変な状態になっている事があると思います。400ほど公園があり、なかなか行き届いていないのですが、ここは生えて使いにくいといったお声をいただいた所を優先して作業しております。これも効果的な方法があれば一緒に考えてもらえたらと思います。最後に根上がりの問題も、公園の樹木の年数が経ち巨木化する事によって起きる問題だと思っております。植えた当初は小さい木でしたが10年20年経ちますとやはり大きくなっていきます。今まではそれを残しながら管理してきましたが、こういった機会に今後大きくなったものは思い切って少し数も減らしていくなど、こういった方がいいのか、一緒にご相談させてもらえばと思っておりますのでよろしくお願い致します。

小林委員長：ありがとうございます。せっかく育った巨木を切るのも勿体ない気もしますが、また議論させていただければと思います。検討項目につきましては情報共有と~~正~~広報の項目を加えてください。二つ目の話題が利用者調査等について、アンケートのやり方や内容についてご提案を頂いております。これは公園に来られた方がQRコードを読み取って、その中でアンケートに答えることができるように計画をされています。裏面に色々と項目をあげて頂いていますが、いかがでしょうか。皆さん見て頂いて自分だったら答えるのは大丈夫ですか。アンケートも項目が多いと答えにくく、少ないと物足りない感じがしてしまいます。これは答えてみたら何分くらいかかりますか。

事務局（高木主任）：だいたい3分程度かと思っております。勿論、あれこれ考えながら打ち込まれるともうちょっと時間はかかるかと思えます。

小林委員長：3分程度でしたら思いついた時にできそうですね。できるだけ多くの方にご回答いただければと思います。公園の名前もどこかに入れるのです

か。

事務局 (高木主任) : はい。あなた自身についての所で「ここは★★公園です」とブルダウンで入れさせて頂こうと思っております。そうする事で、このアンケートを回答して頂いた方はどこの公園でこの回答を頂いたかがわかるようになりますので、その設問を追加させて頂こうと思っております。

小林委員長 : 皆さんのそれぞれの立場から、こういう事がわかると考えやすくなるというような質問項目や追加で確認しておきたい事があればご意見頂きたいです。

長岡副委員長 : 公園ごとに設置する QR コードをかざした時点で公園名がすぐ出てくるような設定にはならないでしょうか。

事務局 (高木主任) : それも検討したのですが、今回 Google フォームを使ってやるかと思っております。かざした時点でこの公園だというようにすると、400 公園分のフォームを管理しないといけないので、事務局としては手間が非常に大きかったのが難しいかと思ひ、できれば公民館区をブルダウンで選んで頂き、そこから公園の名称が出てくるように 2 段階で検索して頂けるような形にし、なおかつポスターには「★★公民館区の★★公園です」という説明を入れさせて頂きたいと考えております。

長岡副委員長 : ウェブが使えない方の為に、公民館や市役所へ紙ベースのものを置かれるという事ですが、(10) のこの公園の満足度の項目が答えられない、例えば紙ベースの物は「よく利用される公園は何ですか」という項目を付け加えると紙ベースでも回答ができ、その公園に対する想いが届くと思ひました。

事務局 (石本課長) (高木主任) : 承知しました。ありがとうございます。これをパッと見た時にこの公園だというのがスマホ上で出るようになりそうですので、そうすると★★公園と検索しなくてもいいシステムになりそうです。そういう形と、そうでもない形の 2 種類を検討していきたいです。できたら公園の名前がはっきりわかると、我々も整理がしやすいかと思ひます。

長岡副委員長 : 回答数を上げる為に公民館に設置するのであれば、公民館にお願いをしてもらい、活動はコロナで減少してはいますが子育てのサークルや乳幼児学級の利用もあるので、そういったところにアンケートのお願いをされるとか、保健師さんが訪問される際にアンケートをやっているのでも協力をお願いしますお願いされたりすると、回答数も増えてくるのではないかと思ひますので、ご検討下さい。

小林委員長 : 公民館を通じてそのようなお願いは可能でしょうか。是非その時にはご協力お願い致します。

~~一度に 397 の公園名がプルダウンに出てきても困りますよね。公園名は 397 個ありますね。プルダウンに 400 個出てきたら、お〜となりますね。~~
自動で公園名が出てくれる←るといいですね。システムはわかりませんが、それができるとだいぶ楽になるとは思います。あと、回答数を増やすとなると、大学生の意見もあった方がいいですか。

事務局 (石倉係長) (高木主任)：公園を利用される方でしたら。野外活動で菅田公園に行っていたらと。

小林委員長：大学生に聞くと、そもそも公園は使わないというような批判的な意見が増えるかもしれないです。

事務局 (石倉係長) (高木主任)：それもご意見です。

小林委員長：使わない人の意見も含めて、集められるか検討してみたいと思います。

事務局 (石本課長)：本日の協議会の中ではなかなかパツと意見が出ないと思います。今日家に帰ってもう一度考えて、これがあったということがあれば、ご意見を組み込むことができますので、できましたら 7 月 22 日金曜日ごろまでに公園緑地課のメールアドレスもしくは電話でお寄せ頂ければ、項目を追加させて頂きまして 8 月上旬から実施させて頂きたいと思

います。
小林委員長：そうですね。今日いきなり資料を渡されてその場で意見というものもなかなか。ほかの議題についてもそうですが、今日は顔合わせと、こういう議論の内容がありますよという紹介の場となりますので。アンケートについてご意見をお持ちであればメールで送って頂いて、他の議題についても他に気になる所があれば皆さん随時送って頂くという形でも宜しいですか。

事務局 (石本課長)：かまいません。お願い致します。

小林委員長：それでは 3 つ目の話題ですが、今後のすすめ方についてです。検討項目として 1～4 まで挙げて頂いて、考え方としてはこれを順番に重点的に見ていく想定をしていただいております。項目の 1 と 2 はどちらかというと、賑やかな公園づくりですね。1 つ目の「楽しい」は子育て世代がイメージ出来て日常的に楽しく使いたいというイメージです。2 つ目の「おもしろい」はレジャー的な非日常が混じった使い方かと思いますが、この部分は新しい発想を試みることでできる部分です。サバイバルゲームのような新しいこと、こんな事が出来たら面白いなということを入れることができるのはこの項目なのではないかと思

っと読書するという、賑やかに対して静かな公園ってどういう風につくろうかといった、性格の違う検討になりそうです。項目4は「使いやすい」ということでまた基準が変わりますが、どのように維持していくかが話題の中心になるかと思います。下の方に地域が主体となり、住民の方がどういう風に関わっていけばいいのか、あと、最近パーク PFI という民間の活力が導入されて公園の中に民間企業に入って頂いて、その利益を公園の維持に回して頂くことが行われるようになってきています。住民と企業の方がそれぞれどのように参画して維持をしていけばいいかということが項目の4つ目になるかと思います。1個ずつ項目順に進めていきますか。

事務局(石本課長)：基本的にはこの項目順でいいと思いますが、1と2を合わせてであるとか2と3を合わせることも良いです。お任せします。

小林委員長：一気に全部となると話が混乱しそうですので、会議としては分けて進める方が分かりやすいかと思います。しかし、皆さんにご意見を出していただくのは多分この順番通りの意見を出していただくのではなく、先ほど事務局の方にメールで色々意見を出して下さいということをお話ししましたが、ご意見についてはそれをすぐ送っていただくという形でいいと思います。その意見が多ければ会議の順番を変えてまずこれをお話してみようというやり方もあるかと思います。現時点では分かりやすいように項目を定めて話してみようかと思います。皆さんのご意見の量、検討する課題の大きさなどを検討しつつ順番等は随時変更させていただきます。皆さんの中で、この中でこういう項目が抜けている、これも検討すべきではないかというような、つけ足すような所はありますか。

小谷委員：あなた自身について(3)のお住まいの中に公民館区内と書いてありますが、若い方や市外から来られた方は公民館、自治会がわからない方も多いという事を考慮して頂くようお願いします。

小林委員長：ありがとうございます。新しく越して来られた方はあまりそういう意識がないということがあるかと思います。どうするのがいいでしょうか。

事務局(石本課長)：お答えしやすいようにしようと思います。若い方も住んでいる町名は書けると思います。そういった項目を入れることを検討したいと思います。いかがでしょうか。

小林委員長：その方がシンプルで分かりやすいかもしれませんね。現地見学の予定はいかがでしょうか。現地は早く見ておいた方がいいですか。現状を把握した上で議論を進めるか、ある程度話をしてから現地を確認するのがいいか、いかがでしょうか。

村山委員：すみません、資料の確認をさせて頂きたいと思います。資料1の公園管理

の状況の所で、手つかずの公園が98公園あります。その、手つかずというのは費用が発生しているのでしょうか。発生していないということは管理費の中に含まれていません。手をつけようとするとお金が今から出ていきますよという解釈でよろしいのでしょうか。

事務局(石本課長)：資料1の裏面をご覧くださいと、利用の少ない公園を4つ載せています。見て頂くとわかる通り、草が生えて誰も立ち入らないような、公園と呼べない形態のものになっており、維持管理費は出ていません。

村山委員：アンケートで整備してくださいと意見があればしなければならないのですか。

事務局(石本課長)：こういった所は明らかに利用していないので、アンケートから外していこうと思っています。

村山委員：非常に心配しておりました。ありがとうございます。あと、草刈り後の草や樹木の処置について、ゆめ公園では昨年度まで地元の方々が畑に草を敷いたり、家庭菜園などでお持ち帰り頂いたりして、ほとんど処理がいらなかったですが、今年度に入り皆さん高齢になり畑仕事を辞められたりして回収のお願いをするようになりました。そういう事を含めて、どのようにリサイクルの循環を作っていくかという事も一つ議題に入れて頂きたいです。最後に、アンケートの後処理の方法についてはもう決まっているのでしょうか。

事務局(高木主任)：アンケートの利用方法は、現在まだ決めておりません。まずは意見を頂いて、それをどう使うかはこれからの検討になろうかと思います。

事務局(渡部係長)：草の処理の関係ですが、現状は草を刈って頂いたら電話を頂き、我々職員が直接出向いて回収させてもらっている状況が多いです。先ほどおっしゃった再利用やリサイクルで活用してもらおうと有り難いですし負担も少なくなるので、ぜひ他の地区や公園でも取り入れられる仕組みが出来たらと思います。またご相談させて下さい。

小林委員長：ありがとうございます。大量に草は出ますので、ひょっとしたらそれで何か出来るかもしれないです。また新しい提案を頂けたらと思います。肥料になるような仕組みが出来るといいですね。先ほど話をしていた現地の見学ですが、早めに行った方がいいですか。

長岡副委員長：行ってからの方がイメージしやすいです。

小林委員長：今の想定ではどのくらいの時期になりそうですか。

事務局(石本課長)：早めに現場を見ておいた方が頭に入りやすいという事であれば、9月頃を予定したいと思っております。皆さん都合がつかましたら、その頃に大きな公園や利用ができない公園等を見ていただく機会を設け

させていただきます。前倒しもかまいません。

小林委員長：9月前後で調整して頂いて、普段行かない公園に行ってみて何か思いつくこともあるかと思しますので、早い時期に現場を見にいただければと思います。あと何か今日のお話の中でもありますでしょうか。

松本委員：アンケートについて、公園の一覧のような物が情報としてあったらいいのではないかとということで、今年度の「みちよって」の発行に伴い公園の特集が出来たらどうかという案があります。それは紙媒体の子育て世代に向けた冊子ですが、そこでいくつか公園の利用の仕方やこんな公園がこんな場所にあるということ、まとまった形の見開きで紹介出来たらという話があります。そこでもアンケートのQRコードをつけたり出来るかと思いました。その議論を「みちよって」のメンバーでしていた際に、既にそういった取り組みがあるという話がありました。例えば、県立大の梶谷先生が学生さんと共に、そういった公園の冊子を出していらっしたり、外遊びに特化した冊子をそういったグループが発行していたりという情報があります。それも併せて紹介したいです。バラバラと紙媒体がいくつも出ても、それを知っている人しか手にしないという現状があり、それを少しでも解消できたらいいなと「みちよって」側は思っております。梶谷先生のゼミ生がやっていたものも大学生の視点というのが興味深かったので、そういった若い世代や子育て中の方が自分の子供をそこで遊ばせてみての感想なども載せられたらと考えています。公園のあり方協議会の方々からも「みちよって」に関して何かご意見をいただけると、それを反映して相互にやっていけるかと思っております。アンケートの内容については、紙ベースを市役所などに置く場合に、「よく利用する公園」を教えてくださいという質問事項があったらということでしたが、それは私もいいと思いました。併せて公園で困っている事やここが違ったら嬉しいというような点を拾い出すような質問もあってもいいのかと思いました。下の今後の公園のあり方について意見をもらう項目でそれを意図されていると思いますが、選択式で駐車場があったらいい、遊具がこうだったらいい等選べる上で、その他という項目があってもいいと思いました。草の状況や日当たりがなくて防犯上怖い等、色んな切り口で困っている事があると思うので、それをある程度網羅した選択肢があった上でその他という項目を設けられてもいいのではないかと考えています。思いついたらまたシェアさせて貰いたいと思います。

北九州市の事例がよく分かり易くて参考になると思うのですが、札幌の事例のように、いくつかの公園が健在していた物を種類別にこちらから今後デザインしていくようなという取り組みというのは、もう既に松江

の中に候補地はありますか。あれば現場見学で伺いたいですし、今の時点でもしあれば勉強させて頂きたいと思いました。

事務局(石本課長)：ありがとうございます。私も資料の説明原稿をつくっている中でこのような事例があることに気づいたくらい先進的な取り組みでして、今回アンケートの意見を集約する中での一つの手法かと思います。公園が400もあれば色々な使い方ができるだろうと思います。今のちいさな公園は何も置かず休むだけの公園にし、大きな公園は遊具を置いて賑やかにするといった、特化の仕方は結構じっくりくるなど思っております。松江市ではこれからの取り組みです。

小林委員長：ありがとうございます。さまざまな意見や情報を頂きました。フリーペーパーでどういう特集をされるかは非常に興味深いです。気になります。どういう公園を対象にするかはすでに決められているのですか。

松本委員：いえ、これからです。発行が3月を予定しておりまして、だいたい10～11月くらいに取材をします。それに間に合う形でこちらと連動出来れば嬉しいなど思っております。

小林委員長：まずはそれで取り上げていただけるような公園を色々とも見てもらい、それを取材して頂ければ一番いいですね。連携して進められる良いと思います。県立大の先生は公園を専門にされている先生ですか。

松本委員：私もまだお会いしていません。メンバーが共有してくれて、今度紹介していただくようになっています。

小林委員長：また、アンケートにつきましても、困っている事を自由にお書き下さいといっても、確かにいきなり苦情は書きにくいというのはあるかもしれません。

松本委員：バラバラと書かれても意見の集約が難しいかと。これは防犯上の問題、これは駐車場というように、ある程度項目が見えていた方がいいかなと思います。

小林委員長：項目が多くなると大変ですが、ある程度の数でおさめられるようであればそれも代表的なクレームの項目は挙げることも検討するのも良いかと思えます。

事務局(高木主任)：検討します。ありがとうございます。

小林委員長：事例として挙げて頂いている北海道の機能分担の公園ですが、松江市ではこれからなので、今後検討・議論という事になるかと思えます。他には気がついた事などありますか。お時間もそろそろ近づいていますので、何か気がついた事があればメールでお知らせお願い致します。本日の予定の議題は一通り終わりましたので、進行を事務局の方にお戻しします。

事務局 (石本課長)：ありがとうございました。小林委員長、長岡副委員長、本日は進行ありがとうございました。委員の皆様も大変貴重な意見を頂きました。ありがとうございます。

3 その他

事務局 (石本課長)：その他として事務局から2点ほどお伝えしたいと思います。
1点目はこの協議会の方の中に2名の一般公募の委員さんを加えさせて頂きたいと思っております。現在、広報で「私もこういう事を言いたい」という方を募集させて頂いております。身近の方で公園に興味を持っている方や友人の方でおられましたら、是非申し込みをして頂きたいと思っております。7月1日～8月1日まで募集をしております。詳しくは市報の7月号、市のホームページに掲載をしておりますのでご覧頂き、申し込みして頂き委員さんになって議論を進めていければと思っています。2点目は次回の予定ですが、9月頃に予定をしております。現場を見るという事で調整をさせて頂くのであれば半日程度お時間をいただくこととなりますので、委員さんの都合がつく日程を決めましてお願いをしたいと思います。今日の議論の中で言い忘れていたことなどがありましたら7月22日までメールや電話でご連絡頂ければ幸いです。どうぞ宜しくお願いします。皆様、貴重なお時間本当にありがとうございました。以上をもちまして「第1回公園あり方協議会」を終了します。ありがとうございました。お疲れ様でした。